

平成26年度第3回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成27年2月19日（木） 10:00～11:20

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（4名）

東川 薫（委員長）

伊藤由美子（副委員長）

赤木 邦男

佐藤 久善

事務局（6名）

水谷 正雄（総務部長）

丹羽 孝至（契約監理課 課長）

加藤 一吉（ ” 検査指導係長）

伊藤奈雄（ ” 契約係長）

河村あづみ（ ” 契約係）

大平 善英（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事担当課（8名）

小林 隆司（建築住宅課 課長）

松田 幸寿（上下水道部 工務課 課長）

栗原 繁憲（ ” 課長補佐兼下水道係長）

諏訪 年男（上下水道部 施設課 課長）

中村 秀俊（ ” 主幹兼水道技術管理者）

伊藤 康洋（土木課 建設係長）

加藤 宏茂（ ” 建設係）

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。本日は、ご多忙中の中、ご臨席を賜りまことにありがとうございます。

定刻になりましたので、平成26年度第3回入札監視委員会を開催させていただきます。

最初に、総務部長からご挨拶を申し上げます。

【事務局】

皆様、おはようございます。

本日は、平成26年度の第3回桑名市入札監視委員会を開催いたしましたところ、委員の皆様方には、年度末が近づき何かとご多用のところご出席をいただきましてまことにありがとうございます。

本委員会は、平成24年4月に条例により市の附属機関として位置づけられ、25年4月の入札契約制度に関する意見書をはじめ、委員会での審議を通じてご意見を頂戴し、市では、これらを受け入札制度の改正をしてきております。このところ、予定価格の事前公表あるいは事後公表のあり方などについて話題となっており、この点1つをとってみましてもメリット、デメリットがあるかと思いますが、市といたしましては、競争性の高い価格決定、透明性のある業者選定、そして、仕様どおりの確実な工事の施工など、入札制度に求められるさまざまな要請を高い次元で発揮できる入札制度となるよう、委員の皆様方からのご意見、ご提言をいただきながら、引き続き適切に対応してまいりたいと考えており

ます。

それでは、抽出案件5件など、本日の議事内容につきましてご審議をいただきますよう改めてお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

【事務局】

本日の議事につきましては、お手元の事項書のとおりでございますので、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、東川委員長から、ご挨拶を頂戴したいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

おはようございます。

今、既に部長のほうからご挨拶をいただきましたように、だんだん年度末が近づきお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

先ほども、国交省のほうからの資料を配付していただきましたけど、また、先ほどの挨拶にもありましたが、入札に求められる条件というのがいろいろ何種類かあって、非常に大きい話ですけれども、私は少子化とか高齢化が専門ですので、どうしても日本全体の借金などを学生にいつもしているので、その中で不当にやはり高い価格で公共事業を行うというのは基本的によろしくないというか、大前提になりますから、その中で品質をどのように確保していくかということもあり、また、特に地域のそれに携わっていらっしゃる方の適切な利益の確保というのも、両方ともあるわけで、そこら辺をどのようにバランスをとっていくかということが非常に重要なことだというふうに思っております。

それでは、本日も進めてまいりますので、皆さんの協力でやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして東川委員長に議事進行いただきますと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

本日は傍聴の希望の方は。

【事務局】

いません。

【委員長】

それでは、本日の会議は一般公開となっているんですけれども、今お聞きしたところ、傍聴を希望される方はお見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点でその可否につきましてはお諮りをさせていただこうと思います。

それでは、早速、審議に入ります。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

議事の1、入札、契約手続きの運用状況につきまして、事務局のほうから説明をお願いします。

【事務局】

改めまして、おはようございます。事務局の伊藤でございます。

座って失礼します。

それでは、入札及び契約手続の運用状況についてご報告をいたします。

まず、指名停止の状況でございます。

資料のほうは、1 ページをお願いいたします。

今回の審議対象期間であります平成26年9月から12月までの4カ月間に指名停止措置を講じたのは、資料のとおり2件でございます。2案件ともに労働災害事故を発生させまして、労働安全衛生法違反により罰金刑の略式命令を受け、その刑が確定したことにより三重県が実施いたしました指名停止に合わせまして、本市におきましても同等の措置を講じたものでございます。

続きまして、談合情報の状況でございますが、対象期間において寄せられた情報はございませんでした。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見がございましたらよろしくお願いします。

【委 員】

(特になし)

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、続きまして、議事の2です。抽出事案の審議についてのほうまで移りたいと思います。

審議に先立ちまして、抽出案件5件につきまして説明を得るために入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委 員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、関係者の方に出席していただきたいと思います。よろしくお願いします。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、よろしいでしょうか。

今回は事案の抽出は私の番でございますので、今回の5件の抽出理由につきまして私のほうから説明をいたします。

最初の案件です。

深川町改良住宅屋根外壁改修工事(1号～8号)です。この理由は、落札率が高い、あと発注金額が比較的高額である、あと応札業者の数が少ないというふうで選ばせていただきました。

2番目です。

長島中部小学校避難用非常階段及び屋上フェンス等取付工事。この理由は、落札率が同じように高い、発注金額も高額である、あと応札業者の数が、これは多いことを理由としております。

3番目です。

福島城下幹線東方枝線污水管路施設工事（その１）です。これは発注金額が高額であるため選びました。

４番目です。

遠方監視制御設備更新工事。これは落札率が高いということ、発注金額が高額である、あと応札業者の数が少ないということです。

最後の市道高割２号線道路改良工事。これは落札率が高いという理由で、あと随意契約であるというので選びましたということであります。

抽出事案 １ 深川町改良住宅屋根外壁改修工事（１号～８号）

【委員長】

それでは、第１案件、深川町改良住宅屋根外壁改修工事（１号～８号）につきまして、まず、発注担当課様から、工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局から、発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

よろしくお願いします。

【担当課】

建築住宅課です。よろしくお願いいたします。

それでは、工事内容をご説明させていただきます。

工事名、深川町改良住宅屋根外壁改修工事でございます。設計金額は１，８６１万４，８８０円でございます。工期といたしましては、契約日から平成２６年１２月２０日までといたしております。

概要につきましては、プレキャストコンクリート造２階建ての住宅、延べ床面積、１戸当たり８０．８２平米の住宅１棟２戸の４棟８戸の改修を行います。これは社会資本整備交付金をいただきながら行っており、桑名市公営住宅等長寿命化計画に基づき順次改修を行っている工事であります。

工事内容といたしましては、１、外壁の塗りかえ、２、屋根ふきかえ、３、バルコニー防水改修等を行い、住宅の長寿命化を行い、景観及び住環境の整備を図っております。

施工面積として、外壁塗りかえは、１戸当たり１３６平米で防水型の塗装でございます。屋根ふきかえにつきましては、１戸当たり４５平米で彩色スレートぶきにて改修を行っております。また、バルコニー防水は、１戸当たり４８平米のウレタン塗膜防水を行っております。その他といたしまして、といの取りかえ、玄関支柱の取りかえがございます。

以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料のほうは、７ページからをごらんください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格の要件につきましては、市内に本社または本店を登録している建築工事業の許可業者のうち、経審点数５４０点以上の者で、完成工事高が予定価格の２分の１以上、同種工事施工実績といたしまして、平成１６年度以降、官公庁元請で、建築一式工事の実績を有すること、また、技術者要件につきましては、現場代理人及び主任技術者を配置できることとしてございます。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料のほうは、８ページをお願いいたします。

平成２６年９月１０日に入札を行いましたところ、１者から応札があり、開札の結果、最低制限価格以上、予定価格の範囲内でありましたので、三重同愛建設協同組合を落札候補者といたしました。事後審査を行いました結果、適格でございましたので当該事業者を落札者と決定し、税抜き１，６３５万円で契約を締結したものでございます。

以上でございます。審議のほどをよろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いします。

【委員】

このたびの応札してきたところが1者ということでございますが、該当する市内業者というのはちなみに何者ぐらいありますか、質問です。

【事務局】

市内でこの工事に応札可能な業者として、こちらがつかんでいる限りは25者ございます。

【委員】

25者応札可能な業者があつて、応札してきたところが1者しかなかったということに関して、何か考えられる要因というのは把握されておりますでしょうか。

【事務局】

考えられる要因というか、入札の条件といたしましては、特に特殊な条件をつけたりとかはしておりませんので、特に入札の発注公告上は問題ないと考えておりますけれども、考えられることといたしまして、一般的なことで、発注の時期がちょうど工事が、民間の工事も含めて、出てくる時期ではありますので、そのあたりで少し敬遠された部分があるのではないかというふうには考えられるところでございます。

【委員】

そうすると、1者来ていただいたのはやってもらえたというケースではあると思うんですけども、工事そのものは、これは緊急性の高い工事であったわけでしょうか。それとも、入札の手続の問題等があると思うんですが、何かもう一度何者かで競争入札できるような施策を行うことというのはなかったのか、このあたりはいかがでしょうか。

【担当課】

建築住宅課なんですけど、工事担当する部署といたしましては、先ほども説明させていただきましたように、桑名市の長寿化計画というものであります。その中で、平成26年度は築地町改良住宅をやっていきましようというふうな計画でございます。その中の1つの工事でございますので、先生がおっしゃられる緊急性ということではないと思います。

【委員】

わかりました。それでも、一応計画があつて、その中でスケジュールしていかれるわけですから、当然、やっていかなきゃいけない話ということは理解させていただきました。ありがとうございます。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

そうすると、今の説明をお伺いすると、逆に今年の年度はここですよみたいな形で順番に継続して取り組まれているというような、そういうことでよろしいですか。

【担当課】

そのとおりでございます。平成27年度、28年度につきましても、一応計画を立てて修理を行っていく予定でございます。

【委員長】

そうすると、素人考えなんですけど、継続的に取り組まれていくということだと、今年、結果的にこういう時期のことが理由なのかどうかわからないんですけど、1者だったわけなんですけど、こういう事情も踏まえて、また、ある程度複数が参加しやすいようなことを考えていただくとどうかなと思うんですけど、ひとつよろしくお願いします。

【担当課】

一応設計とか、値段につきましては適正な積算基準とか刊行物にのっとってやっております。あとにつきましては、工期等をちょこっと換算すればなというふうなことも若干考えておるわけでございます。

【委員長】

ほかにはいかがですか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては、特に問題はなしということにいたしますけれども、今、各委員からご意見が出ましたので、その点も今後は検討していただければというふうに思います。

抽出事案 2 長島中部小学校避難用非常階段及び屋上フェンス等取付工事

【委員長】

それでは、次の第2案件に参ります。

長島中部小学校避難用非常階段及び屋上フェンス等取付工事につきまして、まず、発注担当課様から、工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局から、発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

それでは、よろしくお願いします。

【担当課】

続きまして、建築住宅課です。よろしくお願いします。

それでは、長島中部小学校避難用非常階段及び屋上フェンス等取付工事の概要を説明させていただきます。

工事名、長島中部小学校避難用非常階段及び屋上フェンス等取付工事でございます。

設計金額といたしましては4,165万1,280円でございます。工期といたしましては契約日から平成27年2月28日でございます。構造規模といたしましては鉄骨造3階建てでございます。

工事概要について説明させていただきますと、長島地区につきましては、津波対策といたしまして小学校単位で非常用階段を設置しております。実績といたしましては、平成25年度は長島北部小学校、平成24年度は伊曽島小学校を行っております。構造規模につきましては鉄骨造3階建てで、施工面積は87.99平米で、メッキ処理を行ったものでございます。

避難の対象としましては、第1に小学生、第2に近隣住民を考えております。

また、外部に設置した理由といたしましては、長島町3小学校とも屋上までの内部階段は設置されていないため、外部に設置しております。

屋上には避難してきた方々の危険回避のため、周囲にフェンスを設置しています。また、避難階段に6カ所、屋上に5カ所の照明器具を設置し、階段設置のために解体した物置をまた新たに設置しております。さらに、体育館の窓ガラスにつきましては、地震時での対策といたしまして飛散防止フィルムを張っています。

増築であることから、建築基準法による取り扱いによる床面積は発生していないため、建築確認は不要でございます。

以上でございます。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明をいたします。

資料のほうは13ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件は、市内に本社または本店を登録している建築工事業の許可業者のうち、経審点数が540点以上の者で、完成工事高が予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績といたしまして、平成16年度以降、官公庁元請で、建築一式工事の実績を有すること。また、技術者要件につきましては、現場代理人及び主任技術者を配置できるこ

ととしてございます。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料は14ページをお願いいたします。

平成26年10月1日に入札を行いましたところ、8者の応札があり、開札の結果、4者が最低制限価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち最も低い価格で応札をした株式会社サトー工業を落札候補者といたしまして、事後審査を行いました結果、適格でございましたので当該事業者を落札者と決定し、税抜き3,830万円で契約を締結いたしました。

なお、本案件につきましては最低制限価格が変動いたしましたので、裏の15ページのほうに算出根拠表を添付してございますのでご参照いただきますようお願いいたします。

以上でございます。ご審議のほどをよろしくお願い申し上げます。

【委員長】

では、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見のほうはございますでしょうか。

【委員】

屋上に避難できる児童とか職員以外に地元の方は何人ぐらい入れるんですか。

【担当課】

そここのところの人数までは把握しておりませんが、生徒プラス近隣住民ということで、申しわけございませんが、人数までは把握はできておりません。

【委員】

わかりました。

それと、もう一つ、最低制限価格、変動ですが、90%を超えるなら90%を最低制限価格とするという規定を使われてこういうふうにやっておるんですけれども、昨年から続いておりますような建築費高騰とかということで、やはりこういった全体に高どまりはしておるんでしょうか。

【事務局】

全体的な傾向といたしましてといいますか、建築工事自体の最低制限価格算出のための基準価格が既に87%程度というところで、安くてもそのあたりにおさまるところで、先ほどの95%が境あたりになるんですけれども、その間ではおさまっているというところなんですけれども、全てが95%程度ということでもございませんでして、基準価格に近いところで落札される場合もございますし、今回の案件につきましても、最低制限価格が変動して失格はしておりますけれども、一番安い金額を入れてきましたところにつきましては、基準価格に近い金額を入れてくれるところがございます。

【委員】

わかりました。

【委員】

過去にされていると思うんですけど、一応お聞きしますが、小学校の避難ということで多分、東南海の津波の予想を考えて、地元の住民さんも含めて高台に行くという形でつくられる、これは、地図が載っていますけど、予想される津波の高さと周りの建物からいって、一番避難する場所として適当であるから予算をかけてつくられたと、検討はされた上なのか、それとも、小学校なのでつくったということなのか、失礼ながらですけど、言うなれば、私の懸念というか、仮にですが、津波の高さからいうと、ほかの建物に逃げたほうが安全だということであると、高いお金をかけてやるよりもそっちの避難ルートの看板だったりとかいろいろ、もしくは、南のほうへ行きますと、避難タワーをつくるかという話もあるような、ないような格好ですね。そのあたりの検討はされた上でのお話でしょうかということをちょっと教えていただければと思います。

【担当課】

先ほどの先生がおっしゃられました津波に対しての、今回、長島中部小学校での浸水の高さといえますのは、小学校で約1メートル、その周囲の近隣につきましては2メートルから5メートルという数字が出ておりますので、そういうことも考えて、人が一番集まりやすい、また、生徒につきましては即座

に危険を回避する屋上へ避難するという意味合いでこの階段を設置して、屋上に避難広場を設けております。

【委員】

すると、近隣が2メートルから5メートルで小学校が1メートルということで、さらに、これですと3階以上、屋上ですと4階に相当するんでしょうけど、そういう意味で一番適任というか、場所として適当という判断がされたということによろしいですか。

【担当課】

そのように分析しております。

【委員】

ありがとうございます。

【委員長】

他はいかがでしょうか。

【委員】

入札価格のほうの話に戻るんですけども、落札率が99.31%で非常に高い落札率を示しているんですが、応札してきた会社を見るときれいに入札ごとに分かれていまして、ほとんどいわゆる最低制限価格のあたり、そのあたりを意識しているような金額のところで、中間みたいなのがなくて、それ以外の業者は今度逆に3,830万から50万と非常に開いた金額のところで、2つに割れちゃっているというのは、何か計算方法で違うものがあるんですか。

【事務局】

計算方法といいますか、応札する姿勢の部分になると思うんですが、ぜひとりたい、落札をしたいということと、応札が少なければひょっとしたら落札できるかもしれない、とれたらうれしいなというところの部分の差が出ている可能性はあるんですけども、積算につきましては、そのあたりはこちらではわからないんですが、担当課さん何かご存じでございますか。

【担当課】

入札の後で、入札書、見積書に相当する各落札決定者さんから提出されておる工事内訳書のところを見ましても、適正というふうなことは思うんですが、その後の、先生がおっしゃられるところにつきましては、その辺はつかんでおりませんで、不明確です。

【委員】

あまりにもきれいに2つに分かれていて、3,700万とか3,600万とかがあってもええのと違うかなと思うんですけど、全然それがないのでお尋ねしたところです。ありがとうございました。

【委員長】

ほかはいかがですか。

私のほうから、これは工事の内容のほうになってしまうんですけど、こういう種類の工事ですと、学校に地域の人も速やかに避難できるようにということが目的だと思うので、その目的と、逆に、外部の人も学校に入りやすくなるという防犯というんですかね、それとやっぱり両方考えないといけないところがあるので、工事の内容として難しいと思うんですけど、そこら辺は何か配慮とかはありましたか。

【担当課】

この屋上避難階段につきましては、委員長がおっしゃられる近隣住民さんへの配慮というのは、特段考えてはございません。

その前に、学校敷地内に第三者さんが容易に入れやんようにするために門扉の整備とか、その辺を行っております。それで、今、この施設を使うようになった時点では、先生、自治会長さんとかがみえますので、その方が門のあけ閉めをしていただけるのかなというふうに考えております。

【委員長】

地震は24時間、いつ起こるかわからないんですけど、そうすると、夜に起こったとしても、自治会長さんなりが鍵をあけて地域の人も上るという想定なんですよ。

【担当課】

そうですね。鍵まではかかっていないかもわかりませんが、門扉があることによって第三者さん、不審な方の侵入を防止する1つの役目を果たしております。それで、その点は、鍵まではかかっていないかなと思うんですけども、そういうふうに、先生がおっしゃられるような考えで設置しております。

【委員長】

なかなかこの点は微妙なところなので、鍵がかかっていないはずだったのが、実際行ってみたらかかっていたと、そういうことがあると避難に支障もあるわけですし、そこら辺が、信頼できる関係者の人にはちゃんとどういうふうな状態になっているかというのは徹底しておいたほうがいいなと、素人考えなので、そういうことを思ったりもしたのでということです。

ほかにはどうでしょうか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては問題なしといたします。

この種類の工事はこれから、防災も含めて増えてくると思いますので、その内容も含めて、また常に改善方法を考えていっていただきたいと思います。

抽出事案 3 福島城下幹線東方枝線污水管路施設工事（その1）

【委員長】

それでは、次の第3案件です。福島城下幹線東方枝線污水管路施設工事（その1）につきまして、発注担当課様から、工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局から、発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。

それでは、お願いします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。よろしくお願いいたします。

資料16ページをお願いします。

工事名、福島城下幹線東方枝線污水管路施設工事（その1）。設計額2,505万600円、工期、平成26年11月10日から平成27年2月27日でございます。

それでは、工事概要についてご説明させていただきます。

この工事につきましては、下水道、上水道の合算によります一括発注でございます。工法につきましては開削工法でございます。

まず初めに、下水道でございますが、污水管布設工、管径150ミリメートル、管種、硬質塩化ビニール管、延長162.9メートル、マンホール工、合わせて6カ所でございます。污水柵設置工13箇所、舗装工427平米でございます。

次に、上水道でございますが、下水道工事に伴います支障移転となります配水管布設工、口径50から100ミリメートルでございます。管種、配水用ポリエチレン管、延長、合わせまして160メートルでございます。消火栓設置工が2箇所でございます。

続きまして、資料20ページをお願いします。

工事場所でございますが、大字東方地内でございます。

以上でございます。

【事務局】

では、引き続きまして、本案件の発注入札経緯について説明をします。

上下水道部の大平と申します。

本案件、事後審査型条件付一般競争入札ということで、平成26年10月15日、公告を行いました。予定価格、税込みで2,505万600円です。入札参加資格として、土木業の市内、経審点数が630点以上としてあります。

入札の経過として、22ページになりますが、応札が5者ありました。そのうち2者が最低制限価格を下回り、最低制限価格以上で予定価格範囲内であった新成テック株式会社を落札候補とし、その後の審査において適格でありましたので、税抜き1,948万5,000円で契約を行いました。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明に関してご質問、ご意見等がありましたらよろしくお願いします。

これは、発注金額がわりと大きかったので選ばせていただいたんですけども、個人的なことを言ったら、私は四日市の上下水道の運営委員をさせていただいていますが、上水道と下水道の工事をこうやって一体としてやるというのは、何となくいい意味で珍しいような気がするんですけど、その点はいかがなんでしょう。

【担当課】

先ほど先生もおっしゃられますように、我々、経費削減というところに着目しまして、下水道と上水道をこれまでは別々に発注しておったというのが基本的なスタンスでございました。しかしながら、経費を少しでも落としていこうということと、上下水道部が1つになったということもございまして、一括で発注することによって利益があるというところで一緒にさせていただいているということでもあります。

以上でございます。

【委員】

今回5者の応札価格を見ますと、一番安いところは1,944万5,000円で、一番高いところは1,954万8,000円、つまり、2,000万円ぐらいの工事の中で10万円ぐらいしか変わらないですね。こういうよく似た積算になるという形、土木とか、こういうのはいろいろ根拠となるものが決まっておってこうなるんだと思うんですけども、上下水道の関係では大体こういうことになる例は多いんですか。

【担当課】

先生がおっしゃられます、状況はどうだということだろうと思いますが、今は各企業の方がかなり研究をされて、情報公開等が以前あった資料の請求とか、そういうところも踏まえまして、かなり研究をされておるかなというふうに思っております。金額が同額になるケースもございますし、レベルもかなり上がってきているかなという認識はございます。

以上でございます。

【委員長】

ほかにありませんか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それじゃ、この案件につきましては、特に問題ないということにいたしたいと思います。

抽出事案 4 遠方監視制御設備更新工事

【委員長】

それでは、次に、第4案件です。遠方監視制御設備更新工事につきまして、発注担当課様のほうから、工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局から、発注公告の内容、入札経過についてご説明をお願いいたします。

【担当課】

上下水道部施設課でございます。

工事名、遠方監視制御設備更新工事、設計額2億75万5,800円、工期、平成27年1月6日から平成28年9月30日まででございます。

工事概要につきましてご説明申し上げます。

昨年度末に策定いたしました桑名市水道事業基本計画の中の機器更新事業に基づき、老朽化した水道施設機器の更新を行うものであります。その中でも、水道施設維持管理上、重要機器であります遠方監視制御装置の工事を3年間で更新するものであります。また、今回の対象機器は、保守耐用年数が過ぎた10施設15面の遠方監視制御装置等の更新を行うものでございます。

以上でございます。

【事務局】

引き続きまして、本件の発注入札契約の流れを説明します。

本件、事後審査型条件付一般競争入札で、平成26年11月26日に発注公告を行いました。

予定金額が2億75万5,800円です。入札参加資格として、電気工事業、市内、準市内、県内としてあります。

28ページになりますが、入札の経過として、応札が1者で、その後の調査の結果、予定価格の範囲内でしたので、株式会社三重日立と1億7,900万、税抜きで契約を行いました。本件、低入札価格調査制度試行案件でありましたが、調査基準価格を下回りませんでしたので、調査はしておりません。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がありましたらお願いします。

【委員】

こちらですが、装置の更新ということで、よく水道メーターとかメーターに関しては計量法で期限が定められていたり、更新というか、取りかえしかないので、そういう意味で、更新というのは何か法律上の規制があるのか、ないのか。あと、何か不具合があったから更新をしたのか、それとも、そろそろ機械の保証、性能の保証からいくと変えなきゃいけない、そのあたりの更新の理由を教えていただければと思います。

【担当課】

ご質問にお答えします。

この遠方監視制御装置につきましては、法律的に何年で取りかえということはありません。規定はありません。今回取りかえる機器につきましては、2000年、平成12年に製造が中止され、2010年、平成22年、部品供給が停止になったものでございます。部品供給が停止になったことから、落雷等で機械がやられた場合に作動ができない、動作することができないという機器につきまして、今回、取りかえを、更新を行うものでございます。

以上でございます。

【委員】

ありがとうございます。

【委員】

ももとの遠方監視制御設備そのものを設置された業者も三重日立さんでしょうか。

【担当課】

今回、取りかえを行います機器につきましては、今、委員がご指摘の三重日立が設置したものと、また、その親会社である日立製作所が設置したものもあります。

以上でございます。

【委員】

したがいまして、よくこういうコンピューター系といいますか、こういう形のものは、それぞれ設置されたもとの業者のものがあって他の業者は入りづらいというところがあって、今回の応札も1者であったというふうに考えていいんですかね。

【担当課】

委員のご質問にお答えします。

今回、設計するに当たりまして、大半が機器の費用でございます。8割強が機器の価格でありますため、重電5者に機器の見積依頼書をお願いしまして、それから、1者は辞退でありました。4者から機器全ての見積価格をいただきました。その4者のうちの最低価格に私ども施設課としまして、査定で査定率0.9を掛けた数字を設計の機器費として上げさせていただいておりますため、重電4者は応札することは可能と考えておりました。

以上でございます。

【委員】

見積もりを出していただいた4者のうちの3者はもう入札には、結果として来なかったということですね。

【担当課】

そうでございます。

【委員長】

素人なので素朴な質問をしてしまうんですけど、今、お伺いした話ですと、何となくわかりませんが、こちらから想定の高価格自体を重電各者に出してもらったのを参考にしてというプロセス、勝手に何か認識があるんですけど、そういう認識でいいんですか。

【担当課】

遠方監視装置、機器は市場価格にあるような、そういうものじゃないわけですね。各メーカーさんがつくって、そこで金額を提示するものでありますので、各メーカーさん、やはり遠方監視装置、1面の単価が違うわけですね。ですから、私どもも設計するに当たり、機器費が幾らかわかりませんため、それで、重電、つくっているメーカーさんに見積もり、設計、積算としての見積依頼をお願いしたわけです。そうしたら、重電さんから見積書が戻ってきまして、それに対して行ったものでございます。

以上でございます。

【委員長】

最初に出てきた価格は結構開きというか、幅はありましたか。

【担当課】

約15面あるんですけども、それに対して、開きはあるものもありますけれども、大体よく似ております。それで、やはり倍以上の開きがあったものにつきましては、それは除外させていただいております、積算の設計書のときに。ですから、平均額をとりまして、その30%を上下する分については削除しております。

以上でございます。

【委員長】

ほかにありませんか。

あと、先ほどの設備の更新についてなんですけど、交換部品のストックがもう途切れてきたという、そういうことがきっかけで次に更新するというのは基本的な考え方なんです、そういうことですよね。

【担当課】

遠方監視装置というのは、やはり1面当たりの単価が高いものでありまして、部品供給をしていただ

いている間は修理しながら長いこと使っていくということで、耐用年数としましては、今、電子機器というのは15年ぐらいで大半、部品供給ができませんけれども、メーカーさんの部品供給がある間はやはり使用していきたいということで考えております。

以上でございます。

【委員】

このたびは15面が更新になったということで、それについては、たまたま日立、もしくは日立製作所さんの中で取り入れたものが今回の更新の案件だったということだったと思いますが、それ以外に、多分全部で50とか60とかあるんだろうと思いますが、ほかのメーカーさんというのも入っているかどうか。

【担当課】

施設課、水道のほうなんですけれども、遠方監視制御装置は施設全体で42セット、42セットといいますと約80面近くあるんですけれども、その他のメーカーは横河電気さん、それから、昔は富士電気さんなんですけれども、今はメタウォーターさんですか、その遠方監視制御装置も入っております。

以上です。

【委員】

ありがとうございました。

例えば、別にほかのメーカーが競争で入ろうと思えば入れる状況だと思いますし、このたび重電5者に見積もりをとられているというので、やり方としては十分であると思います。

ありがとうございました。

【委員長】

ほかにどうでしょうか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては、問題ないということにしたいと思います。

抽出事案 5 市道高割2号線道路改良工事

【委員長】

それでは、次に、最後の案件です。市道高割2号線道路改良工事につきまして、発注担当課のほうから、工事概要書、位置図、随意契約理由書の説明をしていただき、その後、事務局から、入札経過についての説明をお願いします。

【担当課】

それでは、土木課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、資料の29ページからお願いいたします。

工事名、市道高割2号線道路改良工事、設計額は474万5,520円でございます。工期といたしましては、契約日であります平成26年12月10日から平成27年3月18日までといたしております。

工事概要につきましては、全長32メートル、内訳としましては、排水構造物口、PU3型300A、31メートル、PU3型400A、6メートル、自由勾配側溝400を2メートル、既設側溝400のかさ上げ工を16メートル、集水桝工を3カ所、附帯工として石積み鉄橋設置11平米、信号機附帯設備として一式、構造物撤去工、舗装版231平米、コンクリート構造物13立米、舗装工、表層工5セ

ンチが196平米、路盤工20センチを47平米、区画線工として114メートル、あと雑工として、民地内の舗装復旧工を27平米行っております。

続きまして、資料31ページでの施工場所といたしまして、多度町香取地内の工業地域に位置しました国道258号線との交差点部でございます。

続きまして、随意契約の理由につきましてご説明させていただきます。

本工事の施工目的としては、国道258号線の4車線化工事に伴い、新たに交差点を設置する工事があります。国土交通省とも協力し、一連の施工箇所を整備することが目的であります。このことから、国土交通省発注の本線工事とは施工上において一体化施工が望ましく、現場内の安全確保、国道の円滑な交通形態の確保、また、国交省との工程調整の結果からも早期の完成及び供与開始をする必要性から、一般競争入札方式ではなく随意契約による入札方式で進めることが有利というふうに考えました。

なお、随意契約によって工期の短縮、また、国土交通省発注の本線工事の諸経費を利用した合算経費での積算となっており、当初設計においては一般の設計書に比べて諸経費を節減することができた安価な設計とすることができました。

以上でございます。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果についてご説明をさせていただきます。

資料につきましては33ページをお願いいたします。

平成26年12月3日に見積もり合わせを行い、指名業者のアイトム建設株式会社から見積もりを徴しましたところ、1回目、2回目につきましては予定価格以上でありましたが、3回目の見積もりにおきまして予定価格の範囲内でありましたので、税抜き430万円にて契約を締結したものでございます。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ご質問、ご意見がございましたら。

細かいことなんですけれども、資料32ページの随意契約理由書の真ん中辺の4行ぐらいのところの件なんですけど、これはどういう意味なんですかね、補償交渉が云々というところがありますけど。

【担当課】

4車線化に伴って交差点が今の現況よりも大きくなるという、広くなる必要性がありまして、その部分については今の道路の敷地では足りない状況でございましたので、ここで道路用地として必要な用地交渉に入らせていただきました。それで、この用地交渉における補償物件等もございますし、用地の所有者の方の同意、そういったものを、用地交渉を進める中で、個人的なそういうこともありますので控えさせていただきたい点もあるんですが、なかなかご希望に沿えるように努力を進めておった中で、交渉期間がちょっと長引いてしまったというところで一定遅れてしまったというのが理由でございます。

【委員長】

今のことは、随意契約にしたほうがいいのかという話の根底にはやっぱりあるわけですか。

【担当課】

それで、交渉期間は、通常の設計と考えると1カ月ぐらいのおくれが出ました。それで、随意契約を進めるというのは、そのおくれを取り戻すという工期の短縮というのもあるんですが、国土交通省さんの本線の工事のほうは供用開始という、そういうものもございます、そういった締めがありますので、それに向けて工程調整を行っていくと、やはりこの随意契約で進めて工期短縮を進めるのが望ましいという判断をさせていただきました。

【委員長】

ほかにはどうですか。

【委員】

それで、本体の258号線のほうの工事をしよるのはアイトム建設ですよ、当然のこと。

【担当課】

おっしゃるとおりです。

【委 員】

この工事は何年からやってみえて、3月18日以降に供与開始の予定期日になっておるんですか。

【担当課】

工事の本体工事がいつからというのはちょっと勉強不足でわからない点があるんですが、一応、国交省さんのほうとしましては、おおむね該当する箇所については今年度いっぱいをめどとしながら、桑名市と県境になる部分のあたりまでについても、27年度をめどとして終わりたいということは聞いております。

【委員長】

ほかにかがですか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては、これは随意契約なので、理由については、特に何もなければ問題は無いと思います。

それでは、以上をもちまして、抽出事案の審議を終了いたします。

では、発注担当課様はここで退席をお願いします。どうもありがとうございました。

(工事担当課 退室)

3 その他

【委員長】

次の3のその他ですけれども、委員の皆様、何かございますか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

それでは、事務局のほうから何かありますか。

【事務局】

特にありません。

4 閉 会

【委員長】

それでは、これで平成26年度第3回の桑名市入札監視委員会を終了させていただきたいと思います。また、本日の審議概要は後日、事務局でまとめていただきたいと思います。今日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。